

読書の窓 4月に読みたい本 絵の中のふしき

同じ1枚の絵なのに、見方を変えると新しい発見が…！
脳の錯覚を利用したトリックアートや、画家がメッセージを潜ませた絵など、絵の中のふしきを読書で紐解いてみましょう。
新年度がスタートする4月、脳の活性化にも繋がりそうな
変り種アートをお楽しみ下さい。



『レオナルドの謎』 利倉隆／構成・文 二玄社

レオナルドの名作の謎、生き様そして女性像に迫った一冊。「モナ・リザ」のほほえみの謎に始まり、線遠近法の代表作「最後の晩餐」では手の動きに注目して解説しています。有名な絵画に込められた仕掛けや秘密を探り、神秘的で不思議な世界をのぞいてみませんか？

『だまし絵でわかる脳のしくみ』 竹内龍人／著 誠文堂新光社

クイズや間違い探しをしながら、だまし絵、色や顔の錯覚を楽しんでみませんか？目の錯覚はごく日常的なできごとで、私たちのまわりに様々なかたちで存在しています。この本は、「なぜそう見えるのか？」を脳のはたらきや、知覚心理学の解説付きで解き明かしている科学絵本です。ぜひ、親子で遊びながら脳の秘密に迫ってみて下さい。

『不思議図絵』 福田繁雄／著 ほるぷ出版

「ルビンのつぼ」など色々な錯視を利用した絵を、一つ一つ小さな物語風に紹介しています。赤・青・黄の三原色と白黒を基調とし、太い線でくっきり描かれたポップな絵は、見ているだけで脳が目覚めていくよう。大人も子どもも楽しめる絵本です。

『図説アイ・トリック遊びの百科全書』 種村季弘 他／著 河出書房新社

一見すると奇妙に歪んだ絵。斜めから覗き込んで円筒鏡に映してみると、あら不思議！…アナモルフォーズの技巧や、“野菜の顔”のアルチンボルド、国芳の寄せ絵などなど、脳を刺激する不思議で楽しいだまし絵の世界を堪能できる一冊です。

『歌川国芳』 日本アート・センター／編 新潮社

さかさ絵や影絵、筒や水面に歪んで映った絵などもご覧頂けます。奇才浮世絵師のバラエティに富む作品群と人物像をお楽しみ下さい。

4月の特集

春！さあ始めよう！



寒かった冬もようやく終わり 暖かい春がやってきました！

さあ！新しいことを、始めてみませんか？

『はじめよう！キッチン野菜

節約できて、美味しく、エコ暮らし！』
伊嶋まどか／著 学研パブリッシング



畑や庭が無くても、窓際やベランダで紙コップや小さな器を使った簡単な野菜作りを紹介している本です。季節を選ばず初心者でも気軽に始められる野菜やハーブを中心に栽培方法が掲載されています。

さあ！気軽に野菜を栽培してみませんか？

『500円からはじめる らくらくお金を貯める本』 上野やすみ／監修



かわいいイラストで貯金のイロハを紹介しています。今すぐできる、小さなことから、本格的に貯めるための方法まで一步を踏み出すきっかけとなるような「お金のキホンのキ」を集めている本です。

さあ！貯金を始めてみませんか？

〈特集〉の
お勧め本
です！

『今から始める男の料理

これ一冊あれば食べたいものが
自分で作れる』
検見崎聰美／著 山と渓谷社



初めてキッチンに立つ方のための料理ハウツー本です。野菜の切り方、火加減といった基本から、ステップを追ってしっかりマスターできます。タイトルには『男の』とありますが、女性が読んでも参考になります。さあ！料理を始めてみませんか？

『1本から始める小さなけばな 飾る花 贈る花 ふだんの花』 安丸彌生／監修 成美堂出版



お花を飾ることは幸せをよぶこと、一輪のお花でも幸せな気持ちになります。この本は、日常の暮らしの中でお花を楽しむヒントが掲載されています。庭先に咲いた一輪の花、花屋さんで買った小さな花束などのすてきな生け方を紹介しています。

さあ！小さなけばなを始めてみませんか？

《新刊本の紹介》

*予約できます。ご利用ください。



『絶対おいしい！はじめての簡単おべんとう』

森下久子／著 主婦と生活社

この本はおべんとう作りの初心者でも安心して作れるように、主食、主菜、副菜で組み合わせ、おべんとうの詰め方もていねいに紹介しており、栄養の偏りもなく彩りもきれいに仕上がります。園児、O.S.、お父さん、中学・高校生など年齢・性別に応じて選べるように工夫されています。



『断捨離すれば、片づいた。』

やましたひでこ／著 PHP研究所

片づけられないと、自分を責めていませんか？散らかっていると、ストレスが溜まりませんか？本書では「かたづけられない」「捨てられない」と悩んでいたのが、嘘のようにスッキリ片付く魔法の片付け術“断捨離”をとことんやさしく解説しています。部屋だけでなく、頭や心の中も軽くなります。